

四天王寺和らぎ苑

平成29年度の福祉行政はわたしたちにとって順風とは言い難く、厳しい環境になることが予想される。このような状況下、わたしたちは四天王寺創建以来連綿と継がれてきた福祉の精神(こころ)を揺るがすことなく、四天王寺福祉事業団の一員として、誇りを持って福祉社会の実現のために尽力したい。

和らぎ苑では、職員が目指す指針として『和らぎ苑の誓い』を掲げたい。すなわち、1.和らぎ苑は一つの家族。2.職員は専門職(プロフェッショナル)として誠心をもって職責を果たす。すべては利用者さんのために。3.ご家族も、ご本人を支える大切なパートナー。

以上の3点で、和らぎ苑は“和”で結ばれた大きな家族であり、利用者さんお一人おひとりの人生を宝物のように大切にすることを宗に、ご利用者さん中心の、ご家族を含めた多職種協働で支えるチーム医療・療育を目指します。

以上を念頭に、法人の事業方針、事業計画をうけて平成29年度目標を下記に定めます。

～具体的な事業方針～

(1) 『宣言』の具体的実践と理念の伝承

朝礼の励行と、たがいに挨拶からの始業。四天王寺福祉事業団の一員であることを自覚し、「人の幸せを喜びとして」「安心して暮らせる地域づくり」「人の尊厳と主体的な生活を守る」ことを目指して職務にあたる。職員各人が和らぎ苑の顔、代表であるという自覚を持ち、各部署での問題点、よりよくするための解決策を提案・実行するとともに、その成果を各部署実践報告会で報告する。

(2) 職員教育、人材育成、後継者の育成

専門職としての知識、技能、態度・情意を育成していく教育システムの構築。法人研究発表会に積極的に参加する。国内外学会・研究会、研修会への参加および学術報告を推進する。

(3) 利用者中心の施設

医療・療育の質の向上を目指す。多職種による事例検討会を開催、チーム医療・療育を構築する。

短期(ショートステイ)入所の運用改善、入所病床のユニット化。

(4) 安全管理、危機管理

安全管理は施設の生命線。安全・危機対策は人の努力で構築可能である。安全な環境を構築することで安心が生まれ、安心な環境からよいサービス提供が可能となる。医療安全、安全衛生管理、感染症対策、防犯、災害に対して、各部署並びに悲田富田林苑と連携を図り活用可能な対策を構築し、マニュアルを見直す。セーフティマネージメント機能の推進と強化。感染症対策、安全衛生管理の委員会活動を継続、深化させる。

(5) 各サービス提供の稼働確保、向上

施設入所は定員満床を達成・維持し、稼働率98.9%を目指す。地域を支える施設として短期入所は、ユニット化による質の向上と利用者数前年度比104.7%を目指す。ハード面での制限がある通所事業は、将来を見据えた改修計画が必要。目標として前年度比、通所119.7%、外来診療105.7%、訪問看護127.1%とする。

～改善活動～

(1) 臨床心理士の活動強化。職員のメンタルヘルスケアへの参画。

(2) 高度で温かな医療の提供。医療収入の増収。

(3) 在宅支援強化。特に人工呼吸器装着児、3歳未満児の短期入所受け入れ。

(4) 経済的自立への意識、経済的基盤の確保は、目標を達成するための礎。コスト意識を持つ。

(5) 防災、災害に向けて、アクションカードを作成、実戦訓練を実施する。